

授業科目名	経済学	担当教員	千賀 喜史
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 1 クォーター		
講義内容	この授業は、社会における経済現象について考える力をつけることを目的とします。経済学の中でも特に、ミクロ経済学といわれる分野について講義します。 本講義は 6 回ですが定期試験はペーパーテストです。ご認識の上、希望者は受講ください。		
到達目標	・ 経済に関する基本的な用語と仕組みを説明できる。 ・ 経済現象をグラフによって表し客観化し説明することができる。 ・ 新聞やニュースにおける企業活動を理解し、自ら関心の課題を発見できる力を身につける。		
授業計画	企業の事業戦略、企画業務に従事した経験を踏まえ、企業を取り巻く経済状況の理解するために必要な経済学の基本的事項を体系的に講じています。 1. この講義のねらい 2. 分業の利益、需要と供給 3. 価格メカニズム、市場の効率性 4. 市場の失敗と限界 5. 労働市場 6. GDP とはなにか 上記の内、集中講義に必要な内容を調整し講義します。		
事前・事後学習	テキストを事前に読み、不明な点を明確にしておいてください。また、授業後は必ず章末問題をといてください。		
テキスト	【教科書】 中谷 武, 中村 保『1 からの経済学』碩学舎、2010 年		
参考文献	【参考文献】 中村 保, 大内田康徳『経済学入門』ミネルバ書房、2017 年 茂木喜久雄『ミクロ経済学入門 第 2 版』洋泉社、2019 年 茂木喜久雄『マクロ経済学入門 第 2 版』洋泉社、2019 年		
成績評価の基準	① 出席 (50%) : 出席は講義中の出欠確認での出席、講義後のリフレクションシートの提出、2 つの出席確認により出席と認定します。 ② グループ討議での貢献やクラス貢献度 (10%) : 積極的な発言をクラス貢献度とします。		

	③ 定期試験(30%)：持ち込み不可の記述・選択式のペーパーテストを行います。
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の食事は禁止します。飲み物は蓋のある飲み物のみ持ち込み可とします。 ・授業の遅刻や早退など出欠に関わる連絡は、クラスルームでの個人宛連絡及びメールアドレス宛に事前に連絡をお願いします。リフレクションシートでの上記連絡事項は無効とします。 ・リフレクションシートでの個人的なご質問やご要望は見逃す可能性がありますので、授業後及びオフィスアワーで受け付けます。